

戦争にならないように私はがんばる

古堅南小学校 四年一組 鳥袋 植夏

「お母さん、今日も、公園へ行っ、せみとりしてこよう。」

と、私の弟が言うので、いっしょに、せみとりをしに公園へ行きました。

私の住んでいる家の近くに、大湾公園があります。小さいころから、ブランコやすべり台などでたくさん遊んでいる場所です。今日は、おじいさん、お母さん、弟と私の四人で

せみとりです。

たくさんのおせみがないています。すると、弟が追いかけている一匹のせみが、大きな石にとまりました。

「何だろう。これ、何て書いてあるの。」

おじいさんが教えてくれました。

「これはね、ここ、沖縄でも、一九四五年に戦争があつて、その戦争でなくなつた人達をまつる『いれい』のとうらという、おほかのような物だよ。」

テレビのニュースでやっていったね。国と国
 が争って、たくさんの人達が泣いていたし、
 けがをしていたね。そんなことが沖縄でも
 あったんだね。こわいなあ。いやだよ。ど
 うして戦争なんかするんだろう。
 どうしてだろうね。じゃあ、戦争をしない
 ためには、植夏はどうするの。
 私は、沖縄戦について調べてみました。日
 本軍とアメリカ軍が沖縄本島を中心に激し
 く戦い、一般の住民が戦争にまきこまれ、幼
 い子ども達の命もまきこまれたそうです。沖
 縄の人々は、戦争を望んでいたわけではなか
 ったそうです。「国を守る」ためということ
 を知りました。最近のテレビのニュースで見
 た戦争も、本当に望んだ戦争なのかと、疑問
 に思いました。また、自分の産んだ子どもを
 母親が、あなをほって、まいそうするとい
 う話も見ました。そして、けがをして歩けなく
 なるも、子どもを置いていく親もいるとい
 う話も見ました。悲しい気持ちになりました。

私は、戦争は、本当にいやだと思いました。おそろしいなと思いました。大人のみ人ながら戦争は、こわいよー。かなしいよー。なんで戦争とかするのかねえー。

という意味が、よく分かりました。

私は、戦争しなれたために、二つのことをがんばりたいと思いました。一つ目は、人のことを外見できめつけないようにすることです。どんな人にも、きつと、いいところはあると思うので、いいところをさがして、ながよく

していきたいと思います。二つ目は、人にやさしくするということです。時々、自分から先にやりたかったり、自分の意見ばかりを言うところがあるので、友達の見聞も聞いたりしていきたいと思っています。

私は、友達とながよくすることから、はじめ、先生やお父さん、お母さんの言うことをよく守ることをがんばります。